

丹波小  
学校便り



# 丹波の流れ



発行日

令和3年9月21日

第5号

文責：渡邊

夏休みが終わり、2学期が始まりました。地域の皆さまにおかれましては夏休み中の児童の見守り、そして運動会ではご支援・ご協力をいただき本当にありがとうございました。



自然体験学習での児童・生徒作品



保存会の方から  
いただいた万澄



学校農園のマイタケ

## 2学期始業式

8月25日（水）2学期の始業式が行われました。久しぶりに会った子どもたちは心身ともに成長し、逞しくなった気がしました。

始業式では、樋川校長先生より、ご自身の夏休みの実践（七ツ石山、大菩薩嶺への登山）について思ったことや考えたこと、そして「百聞は一見にしかず」という言葉と後に続く言葉として「百見は一考にしかず」「百考は一行にしかず」についてお話がありました。「教室は間違ふところ（間違ってもいいので）、よく見て、考えて、実行することを大切にしてください」とお話をいただきました。また、2学期の決意発表は岡部草助君、守屋絆起君、石川冬馬君の3人が夏休みに取り組んだことをふまえ、学習や運動会への抱負など力強く発表しました。



その後は小中合同の自然体験学習を行いました。協働プログラム、伐採体験、創作活動を通して自然と親しみ、お互いへの声かけや協力して取り組むことの大切さについて学びました。

## しなやかな心の育成アクションプラン

「しなやかな心の育成アクションプラン」とは県教育委員会で行っている「しなやかな心の育成プロジェクト」の一環として、各校の目標に沿って実践し、学んだことを特別の教科道徳で見つめ直し、しなやかな心の育成につなげていくものです。

しなやかな心とは多様な生き方・考え方を認め（自他を敬愛する心）、困難や挫折に直面しても粘り強く最後まで諦めない心のことです。本校でも「相手の立場に立って行動できるこども」を道徳教育重点目標として児童会活動、清掃活動、道徳の授業等様々な活動を通して取り組んでいます。



道徳の授業の様子

# 丹波小中運動会

ご支援・ご協力ありがとうございました



9月11日(土)「心を一つに笑顔で輝け TABA レンジャー」のスローガンのもと丹波小中運動会が行われました。小中の児童・生徒たちは、この日のために連日一生懸命練習をしてきました。当日は競技に一生懸命取り組み、友達を励まし応援する姿はスローガンにふさわしい運動会であったと思います。保育所の園児のかわいらしいお遊戯は見ている人たちを笑顔にしていました。そして今年度は小中連携の取り組みの一つとして「全校児童生徒によるささら獅子舞い」に取り組みました。文化財保存会の皆さまの協力のもと、運動会バージョンを創り上げ舞うことができました。丹波山村の伝統文化を学び、引き継いでいく貴重な一步となったと思います。文化財保存会の皆さまには演技指導をはじめ万燈や笹の準備等して頂き本当にありがとうございました。また、ご来賓の皆さまをはじめ保護者の皆さま、保育所関係者の皆さま、毎日子どもたちを見守り、協力して下さる地域の皆さま、本当にありがとうございました。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

